平成28年度2学期　学習指導部マネジメント

学校教育目標	校訓「みずから学び、みずから鍛え、みんなと生きる」を体現する生徒の育成
重点努力目標	（1）アクティブ・ラーニングの視点に基づいた授業を実践することによって、基礎・基本の徹底と思考力・判断力・表現力の向上をバランスよく図り、自ら課題意識を持って主体的に学習に臨み、友と高め合うことのできる生徒を育成する。 （2）失敗を恐れず挑戦する気概、辛抱・我慢して困難に打ち勝つ精神力、怠惰に流されず自己コントロールできる力をすべての教育活動を通じて鍛え、強くたくましい心と体を備えた生徒を育成する。 （3）学級や部活動、また地域社会との関わりの中で人に喜んでもらうために自分には何ができるかを考え行動することが、結果的に自己理解や自分を大切にすることにつながることを実感させ、夢や希望、やる気を持った生徒を育成する。
分掌重点目標	

柱となる活動	2学期への提言	常時活動	9月	10月	11月	12月		到達目標	評価基準（Check）	成果と課題 Do＆Check	3学期への提言 Action
みずから学ぶ活動	学習規律、姿勢の徹底を高めていきたい。 準備・時間の徹底 →「やっている」のレベルが低いのでは？ 同級生の自学ノートや課題の良い例をどんどん提示していく。 1か月3冊目標は少し無理があるように感じる。→2冊に変更してみる 何処にでも本がある環境をめざしてみる→ホワイエ等にディスプレイとか 別館に本棚を！！	『話す・聞く』レベルの徹底 家庭学習の定着と向上 図書館環境の整備徹底 教科での図書館利用推進	分掌内での共通理解 学習委員会による呼びかけ。 自学ノートの冊数によって色を変えたシールを配布する 教員のチェックの工夫などでやる気が出るノートの取り組みにさせる おすすめ本のポップアップ作成と掲示 教職員への利用の呼びかけ・別館への本棚設置の検討	各教科での状況を把握し、検討			2学期C＆A	・生徒に話す・聞く、姿勢、声の大きさを意識させる授業ができる。 ・生徒に話す・聞くについて適切な評価を返すことができる。 ・生徒に学ぶ姿勢を意識させる授業ができる。 ・クラスが落ち着いた学習環境になる。 ・形骸化せず、意味を持って取り組むことができる。 ・生徒が2か月に1冊ペースで新しいノートに移ることができる。 ・勉強をする意義が分かり、意欲的な学習態度がみられる。 生徒が1か月に2冊以上本を読む ・教員が授業などで書籍、新聞を含めて図書館利用ができる。	〈教職員質問紙〉 生徒に話す・聞く、姿勢、声の大きさを意識させる授業ができた。（85%） 家庭学習の習慣が身に着いた。（70%） ・クラスの半分の生徒がNo.6以上のシールを貼っている。 （図書アンケート） ・生徒が1か月に平均2冊以上本を読んでいる。 （教職員質問紙） ・授業等で図書館、書籍、新聞等を活用した 50%		
みずから鍛える活動	学習委員会で統一して徹底させるようにする 教職員質問紙で、学習環境と時間の徹底は分けてほしい 大人がきっちりと時間の意識をする 放送が聞き取りづらいことが多かった。 情報委員会で講習会を行う。 放送開始時間の厳守。	学習環境の維持・向上 時間の意識徹底 学級内・学校内の掲示管理 放送の充実	教室の学習環境（ロッカー・机の中・掲示物）が整理整頓されているように継続して指導する。 学習委員会で統一した個人ロッカーの使い方を提示する 時間を守る意識を常に持つ。（授業2分前に教科担任が教室に出ている。授業終了時刻を過ぎない。など） 掲示場所の提案、生徒の分担と掲示の仕方を指導する。 朝・昼の放送の実施、掲示物の管理をする。 放送の仕方・機器の扱い方を指導し、徹底させる。					ロッカー、机の中の整理整頓させる指導ができる。 ・生徒同士での声掛けが多くみられるようになる。 ・校内の掲示物が分かりやすく掲示、管理できる。 ・校内放送で、生徒に正確な情報を分かりやすく提供できる。	教職員質問紙 「教室の学習環境が整理整頓するように指導することができた。」（90%） 教職員質問紙 「授業開始2分前には授業に出て、終了時刻を延長しなかった。」（90%） 教職員質問紙 「校内・教室内の掲示物は適切に管理されている」（90%） 「昼の校内放送は正確な情報をわかりやすく提供している」（90%）		
みんなと生きる活動	残り13%は友だちからも大切にされていないのか・・・。 個人的に話すときと公共の場で話すときの使い分けができるようになる。（大人も子どもも） 自分の姿が見えていないのかも・・・大切には考えているのだろう。（実行は出来ていなくても）→質問の内容を行動まで突き詰めていきたい。 一回深呼吸しよう！	全教科における道徳教育の実践 文化祭活動	副読本の計画的活用により、自尊感情を高めていく指導にあたる 情報モラルに関する指導 全校生徒、職員であいさつ、正しい言葉遣いを徹底する ２－（３）　友情 第2回文化祭実行委員会（9月下	４－（４）　生活集団の向上 第3回文化祭実行委員会（10月	３－（１）　生命尊重 H28岩美中文化祭	４－（２）　よりよい社会の実現 第3回文化祭実行委員会（10月		・時と場に応じた適切な言動をとることができる。 ・生徒の秩序と規律が高まる。 生徒による主体的な活動がみられ	生徒質問紙 「私は先生や友達から大切にされている。」（85%） 生徒質問紙 「社会のルール・マナー・モラルを大切にしている」（90%） 文化祭振り返りで『生徒が主体となった活動が見られた』肯定的意見　70%		